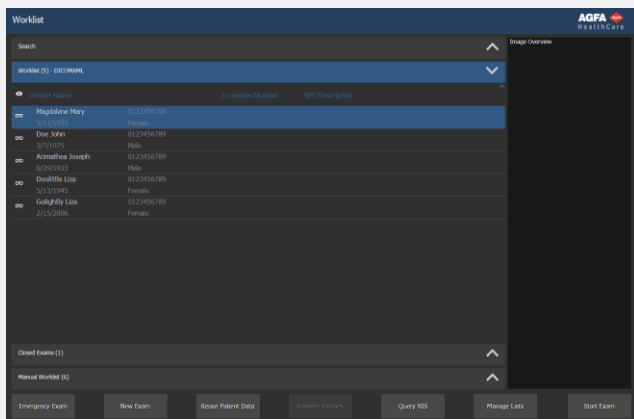


1 患者情報を取得する



ワークリスト

検査

編集

- RIS から患者情報を取得します(患者を選択して、**[検査開始]**をクリックします)。

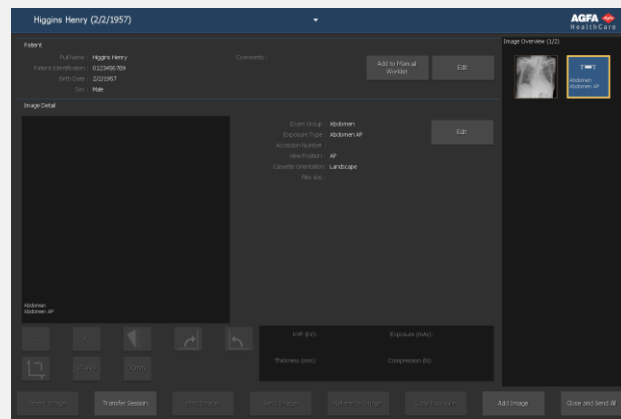
検査開始

もしくは

- **[新規検査]**をクリックして、患者のデータを手動で入力します(例えば、RIS が使用できない場合)。

新規検査

2 検査を選択する



ワークリスト

検査

編集

- **[画像追加]**を使用して、検査を選択します。システムがプロトコルコードを解釈するよう設定されている場合、検査は事前に選択されることもあります。

画像追加

3 照射を準備する

- 照射のサムネイルを選択します。
選択した DR 検知器がアクティブ化されます。
選択した検査または照射用のデフォルトの X 線照射パラメータがモダリティに送信されます。
- 照射設定を確認します。

4 照射を実施する

- 患者を位置合わせして、照射を行います。
画像が DR 検知器から取得されて、サムネイルに表示されます。
プレビュー画像がアクティブなサムネイルで見えるようになるまで、他のサムネイルを選択しないでください。取得した画像が間違った照射に関連づけられるおそれがあります。

チューブの関心領域が適用される場合、画像は自動的に関心領域のボーダーでトリミングされます。

5 品質管理を実行する

- **[画像追加]** ウィンドウを閉じます。
- 画質評価を行い、診断用の画像を作成します(例えば、L/R マーカーの使用、画像のミラーや回転によって)。

- 画像がすべて OK の場合、**[閉じて送信]**を実行できます。

閉じて送信

- 設定によって、画像はハードコピープリンタまたは PACS (Picture Archiving and Communication System: 画像アーカイブ通信システム) に送信されます。

6 広範な編集可能性について



■ **[編集]** タブには、注釈、画像処理(ウィンドウレベル)や印刷などの多数の機能ががあります。

主要なボタン



- 緊急検査** 患者の詳細無しで**緊急検査**を開きます。
- RIS のクエリ** 患者の選択開始前の **RIS のクエリ (RIS ワークリストをリフレッシュ)**。
- 患者データをもう一度利用** 新規検査で**患者データを再利用**します。

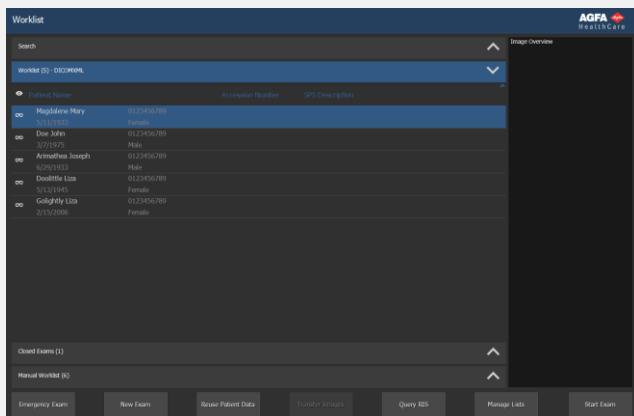


- 回転/反転** 画像を**回転**および**反転**します。
- ブラックボーダー** **ブラックボーダー**を表示/非表示します。
- L/R** 画像で**左**または**右**マーカーを追加します。
- 画像の拒否** 画像の品質が不十分な場合、画像を**拒否**します。



- ウィンドウ/レベル** 画像のグローバルコントラストおよび輝度を手動で調整します(**ウィンドウ/レベル**)。
- バーン** 画像の飽和状態になった部分を反転します。即ち、白色は黒色で表示され、逆も同様です(**バーン**)。
- 手動関心領域** 画像上の関心領域ボーダーを手動で示し、それによって **NX** に画像の再処理を命令できます(**手動関心領域**)。
- コピーモード** ソフトコピーモードとハードコピーモードを切り替えます。

1 患者情報を取得する



ワークリスト

検査

編集

- RIS から患者情報を取得します(患者を選択して、**[検査開始]**をクリックします)。

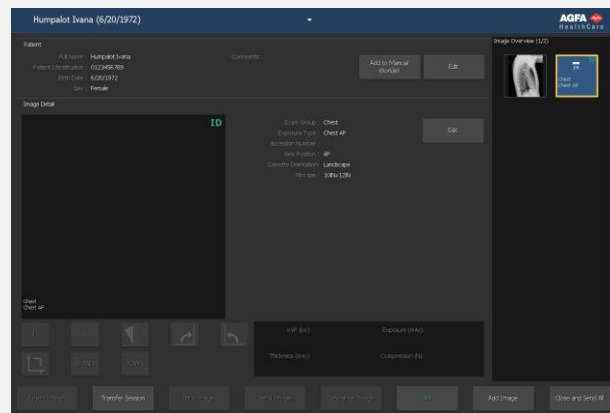
検査開始

もしくは

- **[新規検査]** をクリックして、患者のデータを手動で入力します(例えば、RIS が使用できない場合)。

新規検査

2 検査を選択する



ワークリスト

検査

編集

- **[画像追加]** を使用して、検査を選択します。システムがプロトコルコードを解釈するよう設定されている場合、検査は事前に選択されることもあります。

画像追加

3 カセットを識別する

- 画像を選択して **ID** をクリックします。
- 画像に **ID** アイコンが表示されます。
- 識別の前後で自由に X 線照射を実行できます。

ID

4 画像をデジタル化する

- デジタイザにカセットを挿入します。
- NX ワークステーションの画像概要に画像が表示されず。

5 品質管理を実行する

- **[画像追加]** ウィンドウを閉じます。
- 画質評価を行い、診断用の画像を作成します(例えば、L/R マーカーの使用、画像のミラーや回転によって)。
- 画像がすべて OK の場合、**[閉じて送信]** を実行できます。
- 設定によって、画像はハードコピープリンタまたは PACS (Picture Archiving and Communication System: 画像アーカイブ通信システム) に送信されます。

閉じて送信

6 広範な編集可能性について



■ [編集] タブには、注釈、画像処理(ウィンドウレベル)や印刷などの多数の機能があります。

主要なボタン



- 緊急検査** 患者の詳細無しで**緊急検査**を開きます。
- RIS のクエリ** 患者の選択開始前の **RIS のクエリ (RIS ワークリストをリフレッシュ)**。
- 患者データをもう一度利用** 新規検査で**患者データを再利用**します。



- 画像を**回転**および**反転**します。
- ブラックボーダー**を表示/非表示します。
- 画像で**左**または**右**マーカーを追加します。
- 画像の拒否** 画像の品質が不十分な場合、画像を**拒否**します。



- 画像の**グローバルコントラスト**および**輝度**を手動で調整します(**ウィンドウ/レベル**)。
- 画像の飽和状態になった部分を**反転**します。即ち、白色は黒色で表示され、逆も同様です(**バーン**)。
- 画像上の**関心領域ボーダー**を手動で示し、それによって **NX** に画像の再処理を命令できます(**手動関心領域**)。
- ソフトコピーモード**と**ハードコピーモード**を切り替えます。